

医療法人社団悠翔会の患者さまへ

当院では、患者さんの試料・情報を用いた下記の医学研究を、当法人の倫理委員会の承認ならびに理事長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しております。

本研究への協力を希望されない患者さんは、その旨を下記の間い合わせに示しました連絡先までお申し出くださいようお願いいたします。

なお、本研究への協力を希望されない場合でも不利益を受けることはありません。

研究課題名（研究番号）	在宅癌末期患者におけるフェンタニル貼付薬とPCAポンプ使用例の導入理由と疼痛管理の傾向について疫学的検討（No.014）
研究実施機関	医療法人社団悠翔会 悠翔会ホームクリニック知多武豊
当院の研究責任者（所属）	長谷川 誠（悠翔会ホームクリニック知多武豊）
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
研究の実施期間	西暦 2024年7月26日～西暦2024年8月10日 （調査対象期間：西暦2022年7月1日～西暦2023年3月29日）
研究の目的・意義	フェンタニル貼付薬は内服困難や腎不全、他のオピオイドの副作用がある患者に適するが、血中濃度の安定に時間がかかり迅速なタイトレーションが難しい。このような状況において、病棟ではPCAポンプが選択されることが多いが、在宅医療では導入・管理の問題からフェンタニル貼付薬が使用されることが多い。しかしながら、その導入理由や疼痛コントロールへの影響は不明瞭である。本研究により、在宅医療におけるフェンタニル貼付薬の導入理由や疼痛コントロール、生存期間への影響が明らかになれば、在宅医療での強オピオイド選択の一助となる。
研究の対象・方法	2022年7月1日～2023年3月29日の期間で、悠翔会ホームクリニック知多武豊の所属医師が診療した症例を参照する。PCAポンプによる強オピオイド投与を受けた症例とフェンタニル貼付薬を使用した症例を対象に後方視的観察研究を実施する。カルテ記録から患者データを収集し、年齢、性別、導入理由、最終使用量、疼痛や副作用による薬剤調整の有無、投薬開始からの生存期間を解析・比較する。
試料・情報の他の研究機関への提供および提供方法	なし
個人情報の取り扱い（個人情報の項目）	氏名、患者番号など個人を特定できる情報を削除し、ランダムに研究番号を割り当て、匿名データとして使用する。
お問い合わせ先	悠翔会ホームクリニック知多武豊 担当者：長谷川 誠 （電話：080-1728-3368）
備考（利益相反など）	利益相反なし